

議員提出議案第 7 号

巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書について

巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

令和 7 年 1 月 18 日

高槻市議会議員 高島 佐浪枝
吉田 錦司
木山 ユウ子
西村 ゆみ
中村 明子
田村 のり子
高木 りゅうた
森本 信之
きよた 純子
川口 洋一
北岡 隆浩

巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

近年、我が国では地震、台風、豪雨など自然災害が頻発しており、国民の生命、生活、経済活動に甚大な被害をもたらしている。特に、今後発生が懸念される南海トラフ地震や首都直下地震、さらには富士山噴火等の巨大災害は、我が国全体に極めて深刻な影響を及ぼすことが想定されている。

このような状況を踏まえ、政府は「防災庁」の設置を決定し、災害に強い国づくりを目指して体制整備を進めているが、実際の災害対応においては、地方自治体、地域住民、民間団体、ボランティア組織などとの連携強化が不可欠である。

したがって、政府においては、国民の命と暮らしを守るために、災害に強い国づくりの実現に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう強く要望する。

記

- 1 南海トラフ地震や首都直下地震等の発生に備え、発災時における国の支援体制を一層強化し、被災地への人員、物資、情報支援が円滑かつ迅速に行われる仕組みを確立すること。
- 2 各地方自治体と連携し、災害時の情報共有体制、避難計画、医療、福祉、インフラ維持などの分野での協働体制を平時から確実に整備、確認すること。
- 3 新設される防災庁においては、中央政府と地方自治体、各種支援団体との緊密な連携を図り、災害対応の一元化、迅速化を実現するための機能を強化すること。
- 4 国の防災施策や制度変更については、地方自治体に対して十分な説明責任を果たし、人的、財政的支援を適切に講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月18日

高槻市議会